

各障害福祉サービス事業者等管理者 様

神奈川県保健福祉局福祉・次世代育成部障害サービス課

「東日本大震災」に係る介護職員等の派遣について（7 月分）

日ごろから本県の福祉施策の推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、6 月の職員派遣につきましても、ご協力をいただきありがとうございます。

このたび、厚生労働省から、6 月に引き続き「千葉県立鴨川青年の家」に対する介護職員等の派遣について依頼がありましたので、7 月中に派遣が可能な介護職員等の状況につきまして、法人又は事業所ごとに取りまとめの上、平成23年 6 月17日(金)午後5時までに、別紙（別添のエクセルファイル）にご記入のうえ、ファクシミリ又はEメールにより下記送付先までご回答くださるようお願いいたします。

なお、回答期限が短いため、現状で可能な範囲でご回答いただき、その後の追加・変更等については随時受け付けをいたします。

● **派遣先** 「千葉県立鴨川青年の家」 (<http://www.echiba-sports.org/kamogawa/>)

当施設には、4 月中に福島県から知的障害者の方々279名が避難。現在は千葉県、東京都、埼玉県及び本県等から応援職員が24名体制で支援にあたっている。少なくとも、7 月までは「千葉県立鴨川青年の家」で避難生活を続けることになったため、引き続き、近県からの職員派遣の依頼あり。（8 月以降は他の施設への分散受入れ案を含めて今後調整とのこと。）

● **職種** 生活支援員（知的障害者支援可の方）、児童指導員（知的障害児支援可の方）、看護師、保育士

● **費用関係** 移動旅費、滞在費、人件費の実費分（後日精算）

※派遣の概要については、別添「千葉県への職員派遣について」をご覧ください。

※具体的な派遣の調整、依頼につきましては、名簿取りまとめ後に改めて個別にご連絡、ご相談をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

**派遣職員登録票送付先**

事業所の所在地が**横浜市**の場合

横浜市健康福祉局障害福祉部障害企画課

FAX 045-671-3566 E-mail kf-syokikaku@city.yokohama.jp

事業所の所在地が**川崎市**の場合

川崎市健康福祉局障害保健福祉部障害計画課

FAX 044-200-3932 E-mail 35syokei@city.kawasaki.jp

事業所の所在地が**相模原市**の場合

相模原市健康福祉局福祉部障害福祉課

FAX 042-759-4395 E-mail shougai-fukushi4@city.sagamihara.kanagawa.jp

事業所の所在地が横須賀市の場合

横須賀市福祉部障害福祉課

FAX 046-825-6040 E-mail hp-hw@city.yokosuka.kanagawa.jp

事業所の所在地が上記以外の場合

神奈川県保健福祉局福祉・次世代育成部障害サービス課

FAX 045-201-2051 E-mail jiritsu.shien@pref.kanagawa.jp

(注) 所在地とは、法人本部ではなく、障害福祉サービスの事業者指定を受けている事業所の所在地とします。

#### 問い合わせ先

横浜市健康福祉局障害福祉部障害企画課 電話 045-671-3601(直)

川崎市健康福祉局障害保健福祉部障害計画課 電話 044-200-2654(直)

相模原市健康福祉局福祉部障害福祉課 電話 042-769-8355(直)

横須賀市福祉部障害福祉課 電話 046-822-8248(直)

神奈川県保健福祉局福祉・次世代育成部障害サービス課 電話 045-210-4717(直)

## 千葉県への職員派遣について

- 派遣先：千葉県立鴨川青年の家（千葉県鴨川市太海）
- 派遣期間：7月1日～7月31日
- 職種：知的障害児者対応可能な生活支援員又は児童指導員、看護師、保育士
- 業務内容：利用者の直接支援
  - ・基本は衣食住の支援で洗面、服薬、配膳、清掃、余暇活動、入浴支援等になります。
  - その他、支援物資の運搬等の手伝いもあるようです。
  - ・必要な指示は施設職員からあるようですが、実習生に対するような細かいものまではないようです。
- 勤務形態：日勤（AM6:30～PM6:30）  
（複数の施設が入っており、施設ごとに若干相違するようです）
- 宿泊場所：上記青年の家（費用負担なし）  
鴨川青年の家の研修用畳部屋
- 食事：施設で3食提供（費用負担なし）  
（初日の昼は用意がないようです）
- 派遣職員が用意するもの：洗面具及び着替え等（入浴支援があるので短パン等があった方がよいようです）
- 派遣初日の入所時間（到着時間）：12時を目途（引継は通常12時30分位のようにですが、調整も可能なようです）
- 交通手段：各自で現地へ
- 避難している利用者について
  - ・福島県内の社会福祉法人「福島県福祉事業協会」が運営する障害者支援施設等の9施設から約270人が避難（第1陣は4月5日から滞在）
  - ・年齢的には10代半ばから70歳前後くらいまでで程度区分は軽度から重度まで（次頁の「避難計画」の施設種別参照）
- その他
  - ・上記9施設の職員も利用者避難のために移転しており、その方たちの応援をする形を想定
  - ・フロアを分けるなどして避難している施設ごとに対応をしており、割り当ては現状では現地で行われている
  - ・入浴は施設内の浴場が使用可（日曜のみ不可）
  - ・派遣職員専用の洗濯機あり
  - ・車で数分のところにコンビニ及びショッピングセンター有
  - ・応援職員は各県から総数で24～25名体制、千葉県、東京都、埼玉県及び本県
  - ・形式的には福島県からの依頼に基づく派遣

## 鴨川青年の家への避難計画について

現在、田村市の多機能型事業所田村等に避難中の279人について、4月5日から11日にかけて千葉県の「鴨川青年の家」へ避難する。

